

明治大学グローバルCOEプログラム
【現象数学の形成と発展】

第7回現象数理談話会

GCOE Colloquium

2010年1月26日(火) 16:30 - 17:30
明治大学生田校舎 第二校舎 A館 401教室



雌による好みが強いと、
集団間で体色が分化しやすいか
— パナマのヤドクガエルを例に —



巖佐 庸 IWASA Yoh (九州大学)

自然淘汰によると、餌を効率よく探し、捕食者からうまく逃げ、病気にも強く、寒さや厳しい環境にも耐えられるような生物が進化するはずである。ところが雌に配偶者に対する好みがあると、雄は派手な体色や美しいダンスや鳴き声など有用には関係がない形質を進化させる。ダーウィンはこのことを指摘して性淘汰と名付けた。

本講演では、性淘汰の考え方とその量的遺伝モデルを説明したあと、配偶者選択があるかない場合に比較して地域ごとに集団の形質が異なるようになりやすいことを、確率差分方程式にもとづいた新しいモデルにより示す。そしてパナマのヤドクガエルの体色が島ごとに異なる現象を説明する。



参加自由です。皆様のお越しをお待ちしております。

明治大学生田校舎へのアクセス：
小田急線「生田駅」から徒歩10分又は「向ヶ丘遊園」駅北口から
「明治大学正門前」行きバスで終点下車
詳しくは、http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/ をご覧ください。



明治大学グローバルCOEプログラム
「現象数学の形成と発展」 拠点リーダー：三村昌泰
問い合わせ先：明治大学教学企画部グローバルCOE推進事務室
Email: gcoe@mics.meiji.ac.jp